





## To Our Shareholders

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社の平成27年5月期(平成26年6月1日から平成27年5月31日まで)の事業内容、取り組みについてご報告いたします。

日本オラクル株式会社  
取締役 代表執行役社長 兼 CEO

A handwritten signature in black ink, reading "杉原 博茂" (Sugihara Hiroshige).

Hiroshige Sugihara

## トップメッセージ

日本国内の経済環境は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動減はあったものの、政府の経済政策や金融政策により緩やかな改善基調にあります。一方、技術・社会面では、デジタル・ディスラプション(デジタル化による大変革)、少子高齢化に伴う生産人口の減少と人手不足、グローバル化の進展など、従来型のビジネスモデルから未来志向型のビジネスモデルへの転換を迫られており、クラウド・IT活用による生産性の向上や成長分野への事業進出が課題となっております。

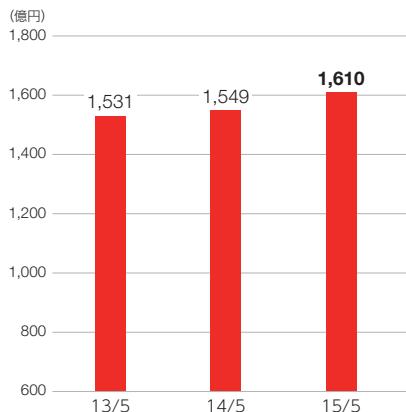
このような事業環境のもと、当社は、「VISION2020:2020年までにNo.1クラウドカンパニーになる」ことを目標に、「クラウド関連製品・サービスの拡充」、「エンタープライズ営業の強化」、「組織階層のフラット化による迅速な製品供給、顧客サポート体制の強化」、「パートナー企業との戦略的協業と新市場の開拓」、「顧客企業の海外事業展開の支援」を積極的に推進し、当期は売上高、および全ての利益項目で当初の業績予想を達成し、過去最高の業績を記録することができました。

今年10月、日本オラクルは設立30周年を迎えます。平成28年5月期を第二創業期と位置付け、「POCO: The Power of Cloud by Oracle」をテーマにデータベースカンパニーからクラウドカンパニーへの変革を強力に実行し、持続的な成長、企業価値の増大に努めてまいります。今後とも株主の皆様のご支援を賜ります様、お願い申し上げます。

## 決算ハイライト

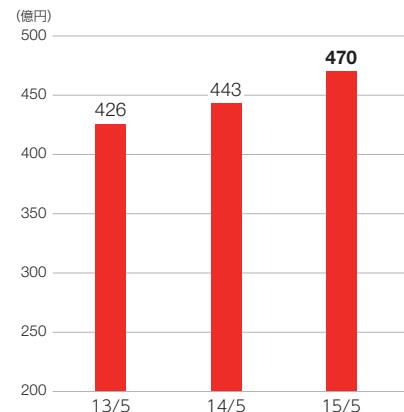
### 売上高

1,610 億円 (前期比 3.9% 増)



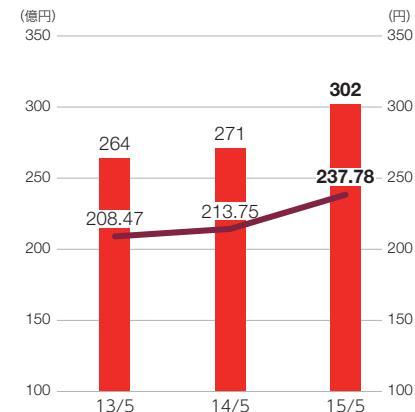
### 営業利益

470 億円 (前期比 6.3% 増)

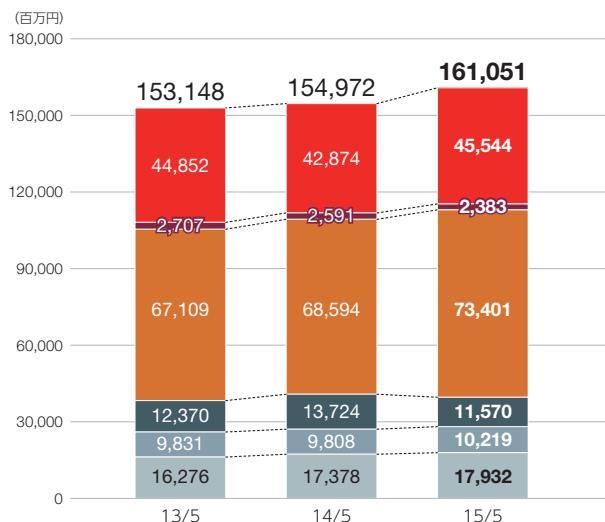


### 当期純利益・1株当たり当期純利益

302 億円 (前期比 11.3% 増)  
237.78 円 (前期比 24.03 円増)



### セグメント別 売上高の推移



### 当期のセグメント別売上高

区分	金額 (百万円)	対前期比 (%)	構成比 (%)
■ 新規ライセンス	45,544	6.2	28.3
■ クラウド・ソフトウェア・サブスクリプション	2,383	△8.0	1.5
■ アップデート&プロダクト・サポート	73,401	7.0	45.6
■ ハードウェア・システムズ・プロダクト	11,570	△15.7	7.2
■ ハードウェア・システムズ・サポート	10,219	4.2	6.3
■ サービス	17,932	3.2	11.1

▶ より詳細なデータについては当社サイト「投資家向け情報」をご覧ください。

日本オラクル IR 検索 <http://www.oracle.com/jp/corporate/investor-relations/>

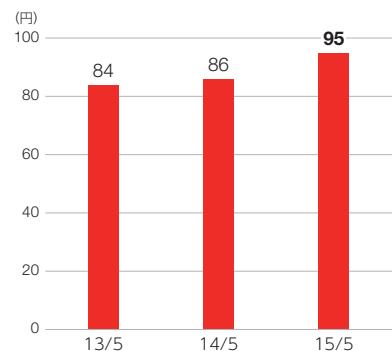
## 配当金について

当社の事業計画に必要な資金需要、業績、キャッシュ・フローのバランスを総合的に勘案し、経営の自由度を確保しながら、安定的な配当の継続により株主の皆様への利益還元に努めることを基本方針としております。

当期の期末配当金につきましては、1株当たり91円の期初計画から4円増配し、95円(前期比9円増)とさせていただきます。

## 配当金の推移

**95**円 (前期比9円増)



## 平成28年5月期の業績見通しについて

平成28年5月期につきましては、企業活動のグローバル化への対応や事業成長を実現するためのIT利活用の積極化、クラウドやビッグデータ利活用の進展等により、日本国内のIT投資も引き続き緩やかに成長していくものと見込まれます。

当社といたしましては、「POCO:The Power of Cloud by Oracle」をテーマに、「クラウドビジネスの拡大」、「クラウド市場開拓のための新しいパートナー協業モデルの構築」、「クラウド技術者の育成」、「ハイタッチ営業力の強化」、「支社・地域ビジネスの強化」、「顧客企業の海外事業展開の支援」といった施策を強力に推進し、持続的な成長、企業価値の増大に努めてまいります。

なお、かかる事業環境の変化に伴い、次期の予想につきましては従来の固定値による業績予想に代えて、レンジによる業績予想を採用しております。

	売上高 (対前期増減比率)	1株当たり当期純利益	予想実効税率
通期	2.0 ~5.0%	245 ~254円	33.5%

# Oracle Japan VISION 2020

2020年までにやりたい私たちの姿

私たちは、2020年までにITインダストリーにおいて

- ▶ **クラウドナンバーワンカンパニー**
- ▶ **もっとも賞賛される企業**

になることを目指し、  
全社員一丸となって  
事業に取り組んでまいります。

**#1**



# The Power of Cloud by Oracle

クラウドのちから



オラクルには、データベース、Javaなどのシステム基盤をはじめ、人材管理から財務会計、経営管理、販売管理、マーケティング、サプライチェーン管理など、企業の変革を実現するあらゆる分野のクラウドが揃っております。これらのクラウドは、世界で最も採用されている標準技術で開発されているため、安全かつ信頼性が高く、お客様のこれまでの投資を活かしながら、経営の判断に合わせた柔軟な選択が可能です。

イノベータティブな経営判断に迅速かつ柔軟に応え、企業の変革を支え続けるオラクルのクラウドにご期待ください。

## オラクルが提供するクラウド



アプリケーション  
(SaaS)



プラットフォーム  
(PaaS)



インフラ  
(IaaS)



プライベート・  
クラウド

▶ オラクルクラウドについての詳細な情報は当社ホームページに掲載しております。ぜひご覧ください。

<http://www.oracle.co.jp/cloud/>

## 事例広告



**ORACLE®**

Oracle Social Cloud

**オラクルのクラウドで**  
ソーシャルによるコミュニケーションを135%活性化

**★ SAPPORO**

クラウドのお問い合わせは | **Oracle Direct** TEL **0120-155-096**

Copyright©2014 Oracle and/or its affiliates. All rights reserved. Oracle, Oracle Cloud, Oracle Corporation and/or its affiliates are registered trademarks of Oracle Corporation and/or its affiliates. Other brands and product names are trademarks of their respective owners. \*上記データはOracle Social Cloud導入直後と導入後12ヶ月、SNS使用率やソーシャルメディアへの流入したユーザー登録数の比較です(2013年10月～2014年7月)。ソーシャルは株式会社共栄。

### トピック

2015年4月「Oracle CloudWorld Tokyo 2015」を開催しました。

2015年4月9日、10日東京国際フォーラムにおいて「Oracle CloudWorld Tokyo 2015」を開催しました。オンライン参加者も含めた事前登録者は2万名以上にのぼり、国内のITイベントとしては異例の規模となりました。オラクルのクラウドへの取り組み、製品・サービス、クラウド活用事例をご紹介したほか、日本を代表するIT企業4社のトップの参集を得て「クラウドのトレンドが世界をどう変えるか?」をテーマに、今後クラウドが世界に与える影響やクラウドビジネスの展望について、リーダーサミットを行いました。



▶ 本イベントの様子は、当社ホームページに掲載しております。ぜひご覧ください。

<http://www.oracle.co.jp/cloudworld/>

## 会社概要

商号	日本オラクル株式会社
所在地	東京都港区北青山二丁目5番8号 オラクル青山センター
設立	1985年10月15日
資本金	227億43百万円
従業員数	2,406名
事業内容	ソフトウェア・ハードウェアの販売及び当該製品の利用を支援する各種サービスの提供

## 執行役および取締役 (2015年8月21日現在)

取締役 代表執行役社長	杉原博茂
取締役 執行役副社長	野坂茂
取締役	デレク・エイチ・ウィリアムズ
取締役	サマンサ・ウエリントン
社外取締役	ジョン・エル・ホール
社外取締役	大岸聡
社外取締役	村山周平

## 株式の状況

発行可能株式総数	511,584,909株
発行済株式総数	127,308,971株
株主数	28,194名

## 所有者別状況



\*個人・その他には自己株式を含みます。

\*株式数は単位未満を切り捨て、構成比は単位未満を四捨五入で表示しております。

## IRカレンダー



## 日本オラクル株式会社

〒107-0061 東京都港区北青山二丁目5番8号オラクル青山センター  
IR・財務企画部  
<http://www.oracle.com/jp/corporate/investor-relations/index.html>

## 株主メモ

事業年度	6月1日から翌年5月31日まで
基準日	定時株主総会 5月31日
	期末配当 5月31日
	*その他必要があるときは、あらかじめ公告する一定の日
定時株主総会	毎年8月
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL. 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により、当社のホームページに掲載します。 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告によることができないときは、日本経済新聞に掲載して行います。

## ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 除斥期間について  
当社は定款により、配当金のお支払期限を支払開始から3年としており、支払開始から3年以上経過した配当金については除斥期間を経過したものとして、ご請求頂いてもお支払いすることができません。配当金はお支払開始後お早めにお受け取りください。それぞれの配当金の支払期限は、株主様にお届けする「配当金領収証」の裏面に記載しております。
- 除斥期間経過前の未受領の配当金は、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。